



WEEKLY REPORT



会長 築瀬 敦

= 築瀬 敦会長スローガン =

“ロータリーのマジックを信じ 地域にマジックを掛けよう”

■例会日:毎週水曜日 12:30~ ■例会場:ホテルシーズン日南

■事務局:日南市岩崎3丁目4番地1-2号 Itten堀川ビル2F 創客創人センター内
TEL:0987-22-3363 FAX:0987-22-3515

第 3 4 1 0 例会	No. 2 9	2025.2.26	
点鐘・ロータリーソング	12時30分	「我等の生業」	
四つのテスト		小玉 淳 君	
例会行事		委員会アワー 職業奉仕委員会	

会長時間



2月23日は、国際ロータリー創立記念日です。2月23日はどのような日なのか少しお話しします。まずは、ご存じ第126代徳仁なるひと天皇ご誕生日であります。1960(昭和35)年2月23日にお生まれになりました。この日は、「祝日法」により元号令和における国民の祝日となり、国際的には日本の国家の日ナショナル デーとなるそうです。2月23日生まれの有名人はといいますと、1646年に生類憐みの令でおなじみの江戸幕府第5代将軍徳川綱吉が出てきました。その後の年代にも歴史上の人物が何人かいたのですが、あまり知らない方ばかりだったので省きます。いきなり最近になりますがほかには、1946年にダウンタウンブギウギバンドの宇崎竜童、1952年には私の大好きなシンガーソングライターの中島みゆき、1956年には、野口五郎や、ブラザートム、百田尚樹などが生まれております。卓球の石川佳純ちゃんも2月23日生まれでした。2-2-3でふじさんの語呂合わせと、2月中旬～末は空気が澄んで各地から富士山を展望出来ることから山の展望と地図のフォーラムが2月23日に記念日を制定しております。それとは別に、山梨県河口湖町、静岡県もそれぞれ2月23日を富士山の日として記念日に制定していますし、加えて長野県富士見町観光協会は、2-2-3をふじみと語呂合わせして、富士見の日の名称で記念日に制定しているみたいです。つぎに2011(平成23)年2月23日に第1回 全国工場夜景サミットが開催されたことにちなんで全国工場夜景都市が記念日に制定しております。工場夜景の魅力を発信し工場夜景観光の発展を通して各都市の活性化を図るための活動が行われております。近年では多くの都市が全国工場夜景都市に加わっており、中でも、北海道室蘭市、神奈川県川崎市、三重県四日市市、福岡県北九州市、山口県周南市、兵庫県尼崎市、静岡県富士市、千葉県千葉市は日本八大工場夜景都市として気軽に工場夜景観賞を楽しむ取り組みが行われております。法律に関連した記念日として、1942(昭和17)年2月23日に税務代理士法という法律が制定されたことにちなんで日本税理士会連合会が記念日に制定しております。身近なのに全く知らなかつたのが、霧島湯路223の日です。鹿児島県霧島市を走る国道223号線沿いには、環境省が指定している国民保養温泉地として妙見温泉をはじめとした温泉地が点在していることから、同市が国道の数字を2月23日として記念日に制定しております。さて、本題になりますが、1905年の2月23日はロータリークラブの創立記念日です。ロータリーは、ポール・ハリスという一人のアメリカ人のビジョンによって始まりました。シカゴで弁護士業を始めたポール・ハリスは、仕事を通じて知り合った数人の仲間を集め、地元の職業人から成る団体を結成するという構想について話し合いました。さまざまな職業をもつ人がアイデアを分ちあい、生涯つづく貴重な友情を築くことのできる場所を思い描いたのでした。ハリスは1868年4月19日に米国ウィスコンシン州ラシーンに生まれ、3歳の時にバーモント州ウォーリングフォードに移り、父方の祖

父母に育てられました。バーモント大学とプリンストン大学で学び、1891年にアイオワ大学で法学の学位を取得しました。1896年にシカゴに移り、法律事務所を開設。その4年後、シカゴ北部で同僚の弁護士ボブ・フランクと夕食をともにし、一緒に散歩していたときのこと。界隈に立ち並ぶ店に二人で立ち寄ったとき、ハリスは、フランクが多くの店主たちと親しくしていることに驚きました。シカゴに移り住んで以来、事業人の間にこのような友情を見ることがなかったハリスは、ウォリングフォードで過ごした少年時代を思い出し、次のように考えました。「大都会にいる何百人、いや何千人という他の人たちにも起きたことを体験しているに過ぎないのだ、という思いが消えなかった。立身出世するために農場や小さい村からシカゴにやって来た若者たちが大勢いるはずだ。彼らを一堂に集めたらどうだろうか。彼らも自分と同じように友情を求めているとしたら、きっと何かが生まれるに違いない」と。ハリスはやがて、仕事を通じて知り合った数人の仲間を集め、地元の職業人からなるクラブを結成するという構想について話し合いました。1905年2月23日、ハリスとガスターバス・ローア、シリベスター・シール、ハイラム・ショーレーが、シカゴ中心街にあるローアの事務所に集まり、これが世界初のロータリークラブ例会となりました。1907年2月、ハリスはシカゴ・ロータリークラブの3代目会長に選ばれました。会長の職を退く少し前、ハリスはロータリーをシカゴ以外にも広げようと試みていました。経済的負担が大きくなることを懸念した数人の会員が拡大に反対しましたが、ハリスの粘り強い努力の結果、米国のはかの主要都市にもクラブを結成することに成功しました。その一方でハリスは、理事会のある全米連合会を結成する必要性を感じていました。1910年8月、シカゴで初のロータリー全米大会が開催され、16の既存クラブが一体となって全米ロータリークラブ連合会（現在の「国際ロータリー」の前身）を結成しました。この新しい連合会は、全会一致でハリスを会長に選出しました。ロータリー会長2期目の終了とともに、健康状態の悪化および仕事と家庭を理由にハリスは会長職を辞しました。大会の決議によって名誉会長に選ばれたハリスは、亡くなるまで名誉会長であり続けました。その後、長い闘病生活の末に1947年1月27日、ハリスはシカゴにて78歳で永眠しました。亡くなる前にハリスは、葬儀に花を贈る代わりにロータリー財団に寄付をしてほしいと言い残しました。偶然にもハリスが亡くなる数日前に、ロータリーのリーダーたちは財団での大規模な募金を取り組んでいました。計報を受け、ロータリーは寄付金を集めることを一つとして、ハリスの遺志を反映したポール・ハリス記念基金を設立。亡きロータリー創設者を偲ぶため、多くのロータリアンがこの基金に寄付しました。逝去から18ヶ月間にロータリー財団に130億ドルの寄付が寄せられ、財団の最初のプログラムである高等教育奨学金に充てられました。「ポール・ハリス」という名は、現在もロータリアンやロータリー支援者の情熱と意欲の源となっています。さまざまな分野の職業人が集まって知恵を寄せ合い、生涯にわたる友情を培うことのできる場をつくることが、ハリスの夢でした。設立以来、ロータリーは徐々に人道的奉仕にも活動を広げ、今ではさまざまな職業や文化をもつロータリー会員が日々、さまざまな課題を解決するために草の根の活動や国際的な取り組みを行っています。

最後に、ロータリーの2大標語についてお話しします。ロータリーの公式標語「超我の奉仕」と「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」の歴史は、ロータリーの初期の頃にまでさかのぼります。1911年、オレゴン州ポートランドで開催された全米ロータリークラブ連合会の第二回ロータリー大会で「He Profits Most Who Serves Best」がロータリーの標語として承認されました。これは、前年にシカゴで開かれた第一回ロータリー大会で、ロータリアンのアーサー・フレデリック・シエルドンが行った演説を基に作られた標語です。ポートランドでのロータリー大会は、もう一つの標語「超我の奉仕」が誕生するきっかけともなりました。大会中にコロンビア川でボート乗りを楽しんでいたミネソタ州ミネアポリス・ロータリークラブの会長、ベン・コリンズは、シアトルのロータリアン、J.E.ピンカムと、ロータリークラブを組織するのにふさわしい方法について話し合っていました。その中でコリンズは、自分のクラブで採用していた理念「無私の奉仕（Service, Not Self）」を紹介しました。ピンカムは、同じボートに乗っていたロータリー創始者、ポール・ハリスを呼んで会話を続けました。そして、ハリスから依頼されコリンズは大会で演説を行い、この文言「無私の奉仕」が熱烈に歓迎されました。この2つの標語は、1950年にデトロイトで開催されたRI国際大会で、「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」と「超我の奉仕」に修正され、ロータリーの公式標語として正式に承認されました。今も続く2つの標語の精神は、ロータリーの創成期には既に存在していたわけです。その精神を忘れないためにも創立記念日を心に刻みたいものです。

幹事報告

1. 笹山ガバナー他、地区ロータリー財団部門長ならびに財団資金推進委員長より、ロータリー財団への寄付要請文書が届いております。なお、当クラブにおきましては昨年8月及び本年1月に年次寄付を済ませております。

(内訳)

- ・令和6年8月 一人当たり @ 10\$ × 30名分 計 46,200円(\$ = 154円)
- ・令和7年1月 一人当たり 3,000円 × 30名分 計 90,000円

(参考)

- ・令和7年1月にポリオプラス基金へ 10,000円を寄付しております。

峰松ガバナー補佐アドレス

次年度からロータリーのテーマはないという事ですけど、会長メッセージはちゃんとありますて、『よいことの為に手を取りあおう (Unite for Good)』が会長メッセージです。Unite とは団結するという意味がありますが、次の RI 会長はマリオさんで、出身はブラジルです。私はブラジルで働いていましたのでポルトガル語だとどちらかというと分裂させないという意味合いが強いです。という事でこの後私は分裂させないように串間ロータリークラブに行ってきますので、早退させていただきます。それとガバナーノミニーは鹿児島の有村さんまでは決まっておりますが、ガバナーデジグネットが決まっていません。本来であれば宮崎で選出しなくてはならないのですが、宮崎で決まっていないという事で4月までに決まらない場合は鹿児島から2年連続出すことになりますのでご報告いたします。

委員会報告

○青少年奉仕委員会 花盛和也委員長

ライラについての進捗状況について報告いたします。日程は4月5日(土)にて、場所は青島青少年自然の家です。予算はホストクラブに40万出ます。1泊2日で企画していましたが1日開催でも同額の予算が出るという事です。これには講師謝礼は含まれません。講演については謝礼交通費込みで5万円で了承を得ています。講演テーマは『慈善活動ってどう思う』というテーマで1時間講演を行っていただく予定です。現在、研修生、ロータリアン、ローター・アクトの参加申し込みを待っているところです。締め切りが3月7日(金)になっていますので、それを受けたて参加者名簿、グループ編成等のプログラムを作成する予定になっています。ライラのテーマは『VUCAな時代に求められるリーダー』となっています。VUCA とは不安定、不確実、複雑、曖昧の英語の頭文字を並べた表現でこれから時代を現在から見通すことの難しさを表現しています。それでグループワーク等を進めていきたいと考えています。今後ガバナーとか地区ライラ委員長の藤原様とかホスト会長の築瀬会長のご挨拶をいただきながら完成する予定です。第2回の実行委員会を3月10日(月)18時から宮崎福祉医療力レッジにて行います。プログラムの最終確認、役割分担等を協議いたします。当日参加できるメンバーが日南ロータリークラブから8名、事務局から1名の9名での対応となりますので忙しくなると思いますがご協力の方をよろしくお願いします。



皆様こんにちは本日は 職業奉仕委員会の委員会アワーですので、職業奉仕に関するお話をさせていただこうと思います。本日 皆様の前でお話しするにあたり、職業奉仕について、調べてみました。「職業奉仕」という言葉として私自身もお話しできるほど、理解できておりませんでしたので、いろんな資料を見てまとめてみました。お手元に「ロータリーの樹」の図があると思います。そちらのご説明をさせていただきます。「ロータリーの樹」はロータリーの職業奉仕を理解する最も良い資料と思われます。



2008年 RI 国際協議会の全体会議において、渡辺好政 RI 理事が「ロータリーの樹・2008」と銘打ってロータリーを「一本の樹」に例えて、ロータリーの奉仕活動における職業奉仕の位置づけを行いましたが、「ロータリーにおける職業奉仕の重要性について」の講演を行った時のものを一部修正し、シカゴにおいて開催された「2013年 RI 規定審議会の審議を経て採択されたもので、以下は渡辺好政氏の説明です。「1905年、ポール・ハリスら4名によって創始された最初のロータリークラブは、その歴史が示すように、初めに、親睦、助け合いから始まりました。すなわち、ロータリーの樹に水と栄養を送る「根」は「クラブ奉仕」であります。ロータリークラブ会員は、クラブという学校で相手のことに思いを馳せ、相手を助けるという『奉仕の理想』を学び、その真意が『共存共栄』であることがわかります。『クラブ会員』は、ロータリーの

目的を基本として、H.テーラーによって実証され、ロータリアンの行動規範である「四つのテスト」による奉仕活動の実際を体得することによって、『ロータリアン』に進化してまいります。ロータリークラブ会員からロータリアンに進化していく過程の基盤には、A.シエルドンの『超我の奉仕』『最もよく奉仕するもの、最も多く報いられる』が存在いたします。私たちは、この2つのモットーを1枚のコインの表・裏と考えながら、日常の奉仕活動に邁進しております。ロータリーは「理念の高唱」に終わるのではなく「行動の哲学」なのであります。このロータリーの樹を「奉仕」という視点から見ますと、クラブ奉仕はロータリーの樹に水と栄養を送る「根」であり、職業奉仕はその上に成長する「幹」です。そして枝が伸びて実った果実として青少年奉仕、社会奉仕、国際奉仕あるいは米山奨学金、ロータリー財団に基づく奉仕活動などがあります。また、「根」としてはクラブ奉仕のほかに「ロータリーの目的」や「四つのテスト」、そして「超我の奉仕」「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」という2つの標語が示されています。そして「幹」として、職業奉仕と並んで「奉仕の理想」が記されているわけです。このようにロータリーの活動の概念を視覚的に理解できるように表現しているのが、この「ロータリーの樹」と言えます。樹のようにロータリーも成長していきます。年輪を重ね幹は太っていきます。成長をとめないで成長を続ける樹のようにあり続けること、そのためには奉仕を実践することが必要です。ロータリーの奉仕の哲学の根底には人づくりがあります。大樹というのは遠くからでもよく見えますし、どっしりと根を下ろした姿は勇壮です。でもよく目につくところは、樹に咲く花や、実った果実です。この「花」や「果実」に当たるのが、社会奉仕や国際奉仕、青少年奉仕、ロータリー財団などです。そして、職業奉仕とはこれらを支える「太い幹」です。幹が太くならなければ、枝は茂りませんし、花も咲かず、実も結びません。幹を太くすることが一番肝要なのです。またクラブ奉仕は樹の「根っこ」に当たります。ロータリー活動の最も大切な基盤となる活動はクラブ奉仕です。ここではロータリアンの人づくりが行われます。正しい職業奉仕はこの樹の幹を太くしてくれます。幹を太くする職業奉仕に比べ、他の奉仕は出来た果実を分け与える事と解釈できます。つまり、沢山実った果実を奉仕活動として提供するということです。それは金銭や物品による寄付であったり、人的な勤労奉仕であったり、色々な形の奉仕に結びつきます。ここで、社会奉仕と職業奉仕の違いを考えてみましょう。「職業奉仕はすればするほど幹が太ること」で、奉仕の最終の受け手は自分です。一方の社会奉仕は、奉仕の受け手、果実をもらうのは相手で、自分は見返りをもらいません。奉仕の受け手の違いが社会奉仕と職業奉仕の違いなのです。職業の実践例でお話しします。簡単すぎる例ですが、パン屋さんのお話です。あるパンさんが、缶詰のパンを開発し長時間保存が効く物になりました。これをアフリカの食糧で困っている子供たちに届けました。この場合、製品開発は「職業奉仕」ですが、無償提供は「社会奉仕」と解釈出来ます。長期間保存の缶詰パンはビジネスとして会社発展の元となり、収益を生み出してくれます。また、老人が食べやすく、口の中で溶けやすいパンの開発も「職業奉仕」ですが、これを町内の老人クラブに無償で提供すると「社会奉仕」ということになります。パンの例から分かるように、保存期間が長いパンの開発は、それを消費する消費者の役に立つ事、つまり消費される先の地域や社会の役に立つ事

も含まれています。職業奉仕を行う先には、社会奉仕や国際奉仕に貢献することに、大いに関連していると考えられています。ロータリーが求めている職業倫理は、「働く人それぞれが倫理を持とう」ということです。「人として倫理を持って職業を営もう」ということです。一タリーにはこの職業倫理を表す言葉があります。それは「四つのテスト」です。

四つのテスト 言行はこれに照らしてから (The Four-Way Test of the things we think ,say or do)

1. 真実か どうか (Is it the Truth ?)
2. みんなに公平か (Is it Fair to all concerned ?)
3. 好意と友情を深めるか (Will it build Goodwill and Better Friendship ?)
4. みんなのためになるか どうか (Will it be Beneficial to all concerned ?)

この4つは、ひとつひとつでなく4つすべての項目を一緒に問わなくてはならないものです。

これを職業奉仕の観点で、解釈してみましょう。

あなたの営んでいる職業には

1. 嘘や偽りはないか?
2. すべての取引先に公正か?
3. 信用を高め、取引先を増やすかどうか?
4. すべての取引先に利益をもたらすかどうか?

このような文章になります。

このように解釈すれば、四つのテストこそ職業倫理を問うている、まさにそのものであるのです。

四つのテストは、例会で唱和したり、歌ったりしているクラブが多くありますので、会員として何も見ないで言えるようにしておきたいものです。そのために『 し・み・こ・み 』と言われる覚え方があります。四つのテストの冒頭の一文字をそれぞれとったものです。これで頭に浸み込みやすくなると思います。今まで述べてきたことを踏まえて、ここでは、なぜロータリークラブとして職業奉仕が大切なのか、ロータリークラブとの関連を考えましょう。職業サービスや職業倫理の向上だけなら、経営コンサルタントや倫理研究者の話を聞けば良いことだと思われるかもしれません。ここで、クラブ奉仕（例会運営）と職業奉仕との関係について考えてみましょう。創立時のロータリーの特長に1業種1社というまりがありました。これは同業者がいると腹を割って話せない、情報が同業者に漏れるのを恐れて、本当の相談をしない、などを防ぐためだったのです。倫理観を高めるためには、会員相互が親身になって、友愛の精神で会員の企業が不祥事をしないか、その予兆は無いかを考え、より高い倫理を持ち、より良い事業をしてゆくための、発想の交換をすることが必要なのです。これを養い研鑽する場所が例会場です。いきなり友愛の精神でと言っても、なかなか耳に痛い事はお互いに言いにくいものですし、聴く側は不愉快に思うはずです。そこで、親睦が必要となってくるのです。親睦は会員同士がより親しくなり胸 きょうきん襟を開いて語り合い、奉仕することに協力し合える雰囲気を作りだすためのものです。ロータリーの樹の根っここのところに、クラブ奉仕が有りました。クラブ奉仕は職業奉仕を支える大切なものです。職業奉仕を行うのにクラブ奉仕の根の広がりがとても重要なのです。この根の広がりのために親睦活動は推奨されています。従って職業奉仕を行うには、例会に出席することが大切になります。その為にも出席して楽しい、出席したくなるような例会運営が必要となり、様々な親睦活動を行うことが重要なのです。ここに親睦の意味があるのです。例会出席は、いわば職業奉仕の入口なのです。例会の場で職業奉仕に関する話を会員同士で語り合い、職業奉仕に関する卓話を聴き、発想の交換を行い、自らの倫理を高めていくことです。最近では個人の倫理を上げるだけでなく、青少年に対して職業紹介や出前授業、学生の企業受け入れ実習などをクラブが窓口となって行っています。「職業奉仕を円滑に行うために親睦活動がある」としておきましょう。

職業奉仕とは結局何でしょうか?

ロータリーの奉仕は「思いやりの心をもって他人のために尽くす」ということですから、さまざまな局面においての「思いやりの心」を持って行う奉仕です。また、職業奉仕は職業を通して行う奉仕ですから、ロータリアンは職業活動やクラブでの活動を通して得たものを社会に還元し、奉仕するということになるでしょう。活動も一方的でなく、「相手を思いやる」ことが大切です。また、この活動を通してロータリアンにも多くの得るものがあると考えられます。

職業奉仕の具体的な実践方法として、職業活動やクラブの活動を通して得たものを社会に奉仕することが基本であると考えます。

職業奉仕は、ロータリークラブの奉仕活動の一つで、職業倫理の向上や専門技術の共有を通じて地域社会に貢献することを目的としています。

職業倫理の促進: 会員が自身の職業で誠実さと高い倫理基準を保ち、他の人々にもその価値を広めること。

専門知識の共有: 会員が専門知識や技術を生かし、地域社会や若い世代に対して教育やトレーニングを行うこと。

職業指導：若者や求職者に対してキャリアアドバイスや職業訓練を提供し、就職活動をサポートすること。

仕事と地域社会の連携：地元のビジネスや団体との連携を強化し、地域社会全体の発展に貢献すること。

職業奉仕は、会員が自分の仕事を通じて他の人々の生活を豊かにし、社会に積極的に貢献する方法の一つです。ロータリークラブの会員は、それぞれの職業を通じて誠実さと倫理を実践し、他者に良い影響を与えることを目指しています。

ロータリーの目的の第2は「職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること。」とあります。職業奉仕は、私たちロータリアンが日々の仕事を通じて社会に貢献し、地域の発展に寄与するための重要な手段です。高い倫理基準を持ち、若い世代の成長を支援し、地域社会と連携して取り組むことが、私たちの使命です。これからも職業奉仕の精神を持ち続け、共により良い未来を築いていきましょう。私にとっての職業奉仕としては、お客様、お花を必要とされる場面において、必要な花や飾り方、お花に関連する事柄について、販売したり相談に乗ったりすることです。具体的には、今日のお誕生日に花束が欲しいなど、急なご注文にも対応できるように、店頭にお花を準備し、スタッフを配置し、お客様のご要望に沿う。

お花もバラやカーネーションなど、いろんな色や種類を取りそろえ、お花を選ぶ楽しさを味わっていただきたいと思っています。今からのシーズンは、1年で一番お花の種類が多い春です。また、送別の時期でもあり、需要も増えてきます。求められる事柄に対応できるよう努めています。ご葬儀に関しては、必要なお花の数がわからない中、急な注文にも対応できるお花をストックし、求められる時間内に配置を完了する事がとても大切になってきます。また、自宅でのご葬儀が主流であった昔に比べ、現在は斎場葬がほとんどです。斎場のほとんどでは、ご葬儀のお帰りの際に、会葬者の方々へのお花のお持ち帰りのサービスがあります。そのお手伝いにも行きます。ラッピング資材^{はんりゅう}やリボンなど、日々新しいものが出てきます。ご存じの方は少ないかもしれません、ここ数年での大きな流行が、「韓流ラッピング」です。お花も重要ですが、お花を何枚ものペーパーで包み、より豪華に華やかに見せることのできる手法です。このような手法を学び、それを提供する。それを行うことで、お客様に満足していただけると思っています。

職業奉仕の精神で、これからも出来ることを、またさらに奉仕できるよう、努力したいと思います。

スマイル

築瀬 敦君 最近、点鐘のハンマーの当たり具合が良くなかったのですが、先週にいたっては、とてもひどいものでした。

峰松俊夫君 ガバナー月信2月号に私がある方にメールしていたハラスマントについての文章が載っていました。 オチャラケなしのちゃんと書いた文章で良かったです。

出席率報告

	会員数	出席免除	出席定数	H C 出席	M U	欠席	出席	出席率(%)
今 週	30	7(5)	25	19	2	4	21	84.00%
出席免除	落丸、田島、清水、野崎、渡邊、							
先取M U	竹井、西田							
欠 席	斎藤篤史、西島、日高、古澤							

事務局〒887-0014 日南市岩崎3-4-2 Itten 堀川ビル2F 創客創人センター内 TEL0987-22-3363・FAX0987-22-3515

会長：築瀬 敦 副会長：斎藤篤史 幹事：石灘寛樹 雑誌会報広報委員長：菊池希樹

雑誌会報広報委員会より

情報、原稿は、admin.pmy06@honda-auto.ne.jpまで送信してください